

新年度に向けて自分の目標を明確にしよう

生徒の皆さん、ご機嫌いかがですか？お元気ですか？

令和2年度の締めくくりの日となりました。今日は、私がこの1年間、集会や校長通信を通じて皆さんに伝えたかったことをもう一度話したいと思います。

皆さんには「夢」をもってもらいたいと言いました。そしてその「夢」を簡単に諦めないでほしいとも言っています。「夢」というのは、『将来自分はこうありたい、こういう人生を送りたい。』ということだと思います。あるいは、『将来自分はこれをやってみたい。』『大好きなこれをやりたい。』という思いです。いずれにしても、「夢」を叶えようとすれば、それなりの準備が必要となります。「夢」を実現するためには「目標」を定め、その「目標」を達成すべく努力をしていくこととなります。「夢」をもった時にありがちなのは、「自分には無理」と考えてしまうことです。何も始まっていない、何の努力もまだしていないのに、なぜ「自分には無理」と決めつけてしまうのでしょうか。若い皆さんにとって、こんなにもったいない話はありません。「自分には無理」ではなく「どうしたら自分にもできるだろうか」と考える習慣を身につけてください。人間の脳はネガティブな思考習慣がつくと、過去の体験で「うまくいかなかったこと」や「できなかったこと」「失敗したこと」ばかりがイメージされるそうです。これでは始めから何もうまく進みません。逆に、「自分は何とかやれる」「ツキや運もある」「どうしたら自分でもできるかな」とポジティブな思考習慣があれば、できるイメージがたくさんわいてきます。私がいつも挨拶の最後に英語で伝えている一節「自分にはできる、そう思えば、できるのだ」を思い出してもらいたいです。

「夢」や「目標」について、元メジャーリーガーのイチロー選手が語った言葉を紹介します。

『夢をつかむというのは一気ににはできない。小さなことを積み重ねることで、いつの日か信じられないような力を出せるようになっていく。』

『まず、手の届く目標を立て、一つ一つクリアしていけば、最初は手が届かないと思っていた目標もやがて手が届くようになる。』



先日卒業した3年生の中には、自分の「夢」を叶えるために一般受検でも挑戦し、最後の最後に第一希望の大学に合格した人たちがいました。彼らは、最後まで決して諦めることなく、自分を信じ、そして自分を信じられるだけの努力を重ね、見事に「目標」を達成したのです。本当に素晴らしいと思います。

さて、皆さんの「夢」を叶えるための来年度の「目標」は何でしょうか？この春休み中に明確に定め、4月に配付される「手帳」に書き込む準備をしておいてください。

最後に、緊急事態宣言は解除されましたが、コロナが収束したわけではありません。依然として感染拡大状況は続いていることを認識して、春休みの過ごし方には十分気をつけてください。それでは4月6日にお互い元気な姿で会いしましょう。

Keep studying, practice hard, polish your skills, and NEVER give up on your dreams!